

「生きる力の根っこ」を太くします！

～全国学力・学習状況調査の結果にみる現状と課題～

「無答率」が中学校で改善！

湖南省の小・中学校では、授業に見通しを持って臨み、主体的に学んでいるという子どもたちの意識が全国的にも高いことが調査からわかりました。これは、共通した授業スタイルでの実践の成果であると言えます。そして、市の課題とされてきた「無答率」ですが、小・中学校での連携が生かされ、今年度、中学校でははっきりと改善の傾向がみられました。

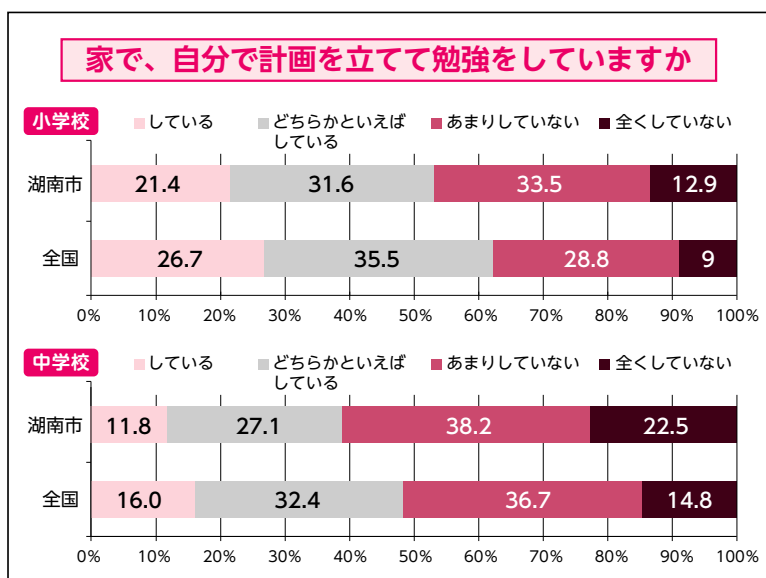
しかし、小・中学校ともに、記述式問題での無答率は依然高く、「書くことが苦手」と答える子どもの率が全国平均に比べて高い状態です。基礎的な問題で、設問によって正答率に差が大きいことから、学んだことをさらに自ら定着させることに課題があると考えられます。そこで大事にしたいのが「家庭での学習」です。

家庭での学習習慣は？

右のグラフは、小学六年生と、中学三年生の家庭学習についての状況を表したものです。「している」「どちらかといっている」と答えている子どもの割合が全国に比べて低いことがわかります。

また、1日あたりのテレビを見ている時間やゲームをしている時間が全国に比べて長いという結果も出ています。

保護者の皆さんには、子どもたちの家庭での過ごし方についてさらに関心を持っていただきたいと思います。



特色ある学校づくり

地域の特色や学校の独自性を活かした特色ある学校づくり(きらめき事業)を行っています。

目的

- ①子どもたちの課題やニーズに即した形での、学校の教育内容・環境のさらなる充実
- ②学校からのアイデアをいかすことによる、学校の活性化

内容

小学校…「体力づくり」「学力向上」「授業改善」「挨拶運動」や、「自主・自治性の育成」などを今までより充実させています。

具体的な取組

- ・朝の読書タイムをきっかけとして家庭でも読書に親しめるよう「読書通帳」を作成し活用
- ・話し方名人・聞き方名人の掲示物を作成し、全教室に掲示すること など

中学校…卒業後の進路保障の一助としての「学力向上」に取り組んでいます。

具体的な取組

- ・生徒自らが自覚、実践していく「学ぶ力向上」の取組
- ・「音読」を通した言語力の向上
- ・小・中学校が連携し、授業改善を図る取組
- ・地域と協働した生徒の学力アップ作戦